

## 実践の記録（小5・社会）

### 1 ねらい

食料生産の工夫や努力について自分の考えをもち、異なる立場で考えを交流することで、自分の考えを深めることができる。

### 2 手立て

#### (1) 情報を整理し、自分の考えをもつために

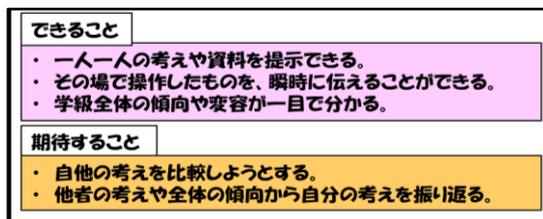
疑問について調べた情報は「まるわかりシート」にまとめ、教室の背面に掲示した。整理して掲示することで、学級全体で同一の情報が共有されるとともに、自分の立場を考える際の根拠となる情報が明確になると考えた。そこから、自分の考えをもち、異なる立場の友達に自分の考えを伝えやすくなると考えた。



【掲示したまるわかりシート】

#### (2) 自他の考えを交流し、自分の考えを深めるために

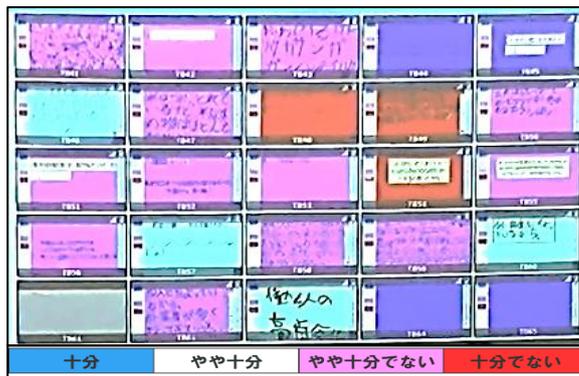
自分の考えを交流する際に、自分が考えた立場を一人一台のタブレットPCで示し、電子黒板に一斉提示する。そうすることで、学級全体で瞬時に傾向を視覚化でき、考えを比較しながら交流することが期待できると考えた。



【一斉提示のできること・期待すること】

### 3 実践の様子

農業・水産業・畜産業の工夫や努力について調べた情報を「まるわかりシート」にまとめて掲示した後で、日本の食料生産の問題点について学習した。子どもたちは、「働く人の高齢化」「食料自給率の低迷」「TPPなど関税や諸外国との貿易」などの問題点を知り、日本の食料生産に不安を感じていた。そして、食料生産の問題点を理解したところで、「日本の食料生産の工夫は十分だろうか」という問いについて4段階で評価させ、その理由をタブレットPCに書き込ませた。(右の資料)



【一斉提示で視覚化された児童の立場】

『十分』と答えた子どもに評価とその理由を聞くと「僕は、『やや十分』にしました。理由は、後ろ（背面掲示）にも書いてあるけど、水産業ではとるだけじゃなくて、育てているし、工夫がいっぱいあったからです。」と答えていた。児童は皆、一斉に後ろを向き、背面に掲示された「まるわかりシート」を確認し始めた。その後も「まるわかりシート」や資料集などを根拠として、タブレットPCに書いた考えを発表したり、質問をしたりしながら考えを交流させることができた。

### 4 成果と課題

- 「まるわかりシート」に学習の内容を記述し、背面に掲示することで、情報を整理しながら学習を進めることができた。また、出来上がったものは、学習の足跡としていつでも振り返ることができたので、「まるわかりシート」を根拠にして自分の考えをもつことができた。
- タブレットPCを使い、課題に対して評価をしたことで、学級全体の動向を瞬時につかんだり、考えの交流を容易にできたりし、それを基にした話し合いで自分の考えを深めることができた。
- 4段階の評価を色で表したことは話し合いのきっかけづくりとして有効であったが、文字の大きさや丁寧さにこだわり、何度も消す子どもがいたため、とても時間が掛かってしまった。繰り返し使うことで慣れていく必要がある。